

令和7年度 九州経済産業局
D X戦略に基づく副業・兼業人材等活用促進事業
事業概要

2025年7月29日

AKKODiSコンサルティング株式会社

笠原 鉄平

目次

- 1 会社紹介
- 2 DXについて
- 3 人材について
- 4 DXの成功へ向けて
- 5 事業目的・概要
- 6 質疑応答

1

会社紹介

会社概要

会社名 **AKKODiSコンサルティング株式会社
(アコーディス)**

事業概要 コンサルティング事業、開発請負事業、教育事業、派遣事業、
フリーランス事業、有料職業紹介事業

代表者 代表取締役社長 川崎 健一郎

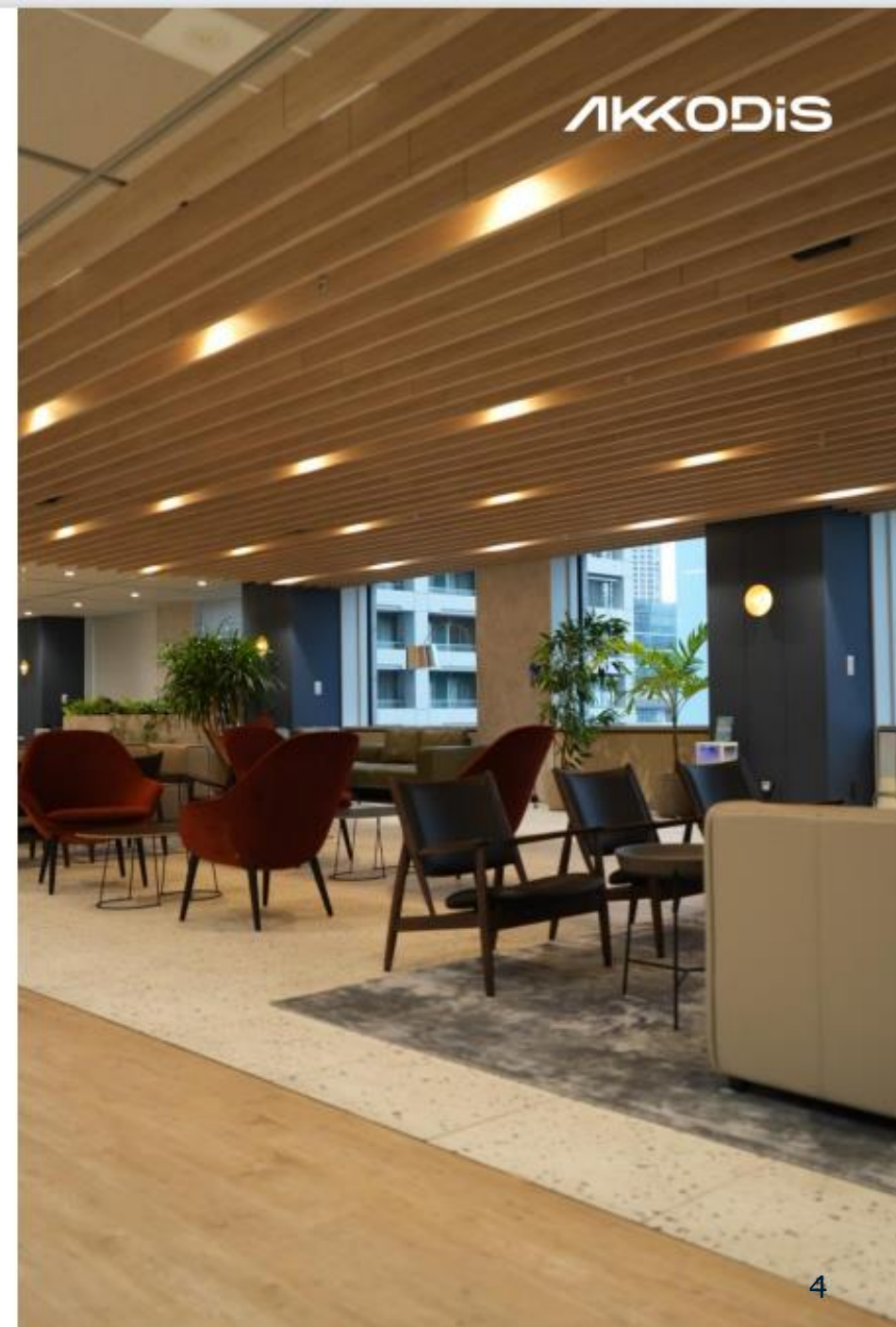
設立 2004年2月10日

本社所在地 東京都港区芝浦3丁目4番1号 グランパークタワー3F

資本金 10億6300万円

従業員数 9,367名（2025年1月1日現在）
※当社に所属する全ての雇用形態の従業員の合計

AKKODiS



Adecco Group Japanサービスブランド

AKKODiS

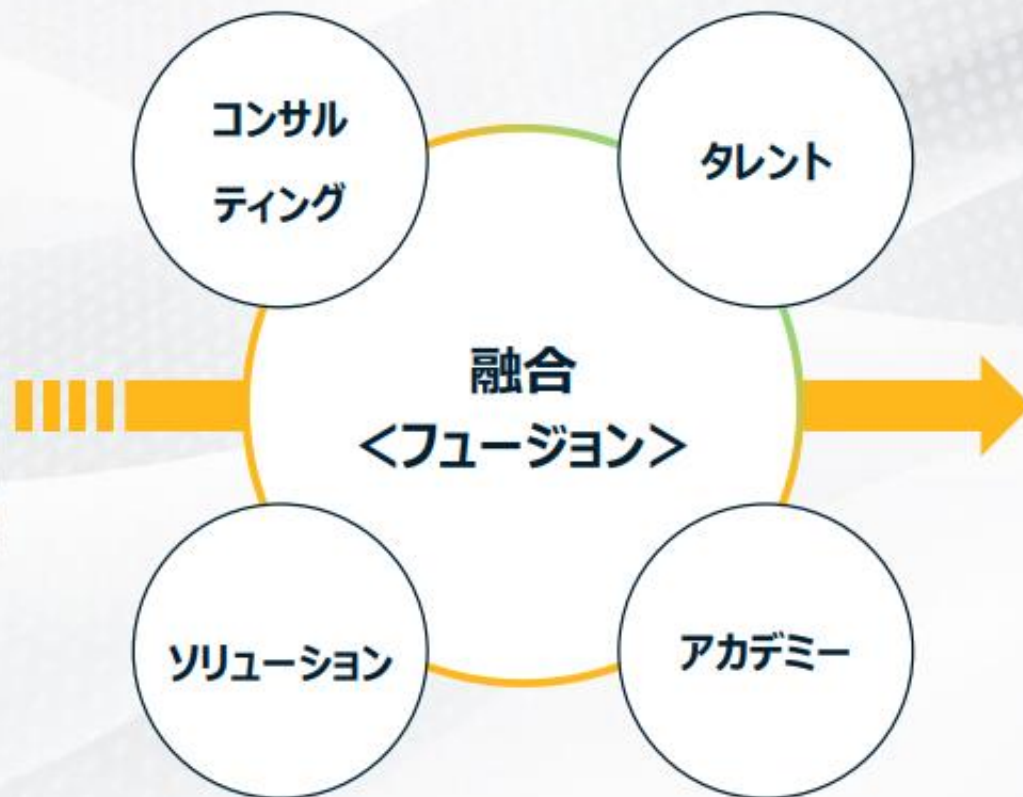
AKKODiSは、人財サービスのグローバルリーダーであるTHE ADECCO GROUPの一員です。

Adecco Group Japanが誇る4つのサービスブランドが、それぞれの強みを発揮し、顧客に最適なソリューションを約束します。

グループブランド				
法人	アデコ株式会社			AKKODiS コンサルティング株式会社
サービスブランド	Adecco	LHH	pontoon	AKKODiS
サービス内容	<u>ワークフォースソリューション</u> - 人財派遣 - 人財紹介 - アウトソーシング - HRソリューションおよびHRコンサルティング	<u>タレントソリューション</u> - 人財紹介 - 新卒紹介 - 障がい者人財紹介 - 再就職支援 - 人財育成	<u>MSP・RPO</u> - 採用 - アウトソーシング - ベンダーマネジメント - 人財紹介	<u>テックコンサルティング</u> - コンサルティング - ソリューション - アカデミー - タレント

現場を熟知したテックコンサルタントが、顧客と融合<フュージョン>したチーム体制の新しいスタイルで、AI Transformationを支援します。現場起点で課題を発見し、4つのサービスを通じて変革を実現します。

属人的で複雑な業務
旧態依然とした価値提供



人とAIが共存するスマートな業務
革新的な新しい価値提供



2

DXについて



出典：YouTube／IPA Channel／「デジタルトランスフォーメーション（DX）ってなんだ」



https://youtu.be/GqoyKHWKZ_s

1. ユーザーに新しい価値を生む（価値創造）
2. デジタル技術で課題を解決（課題解決）
3. トップが経営の变革をリード（経営の变革）
4. 事業モデルの变革（事業变革）
5. 組織や業界を横断して実践（横断的な実践）

Digital

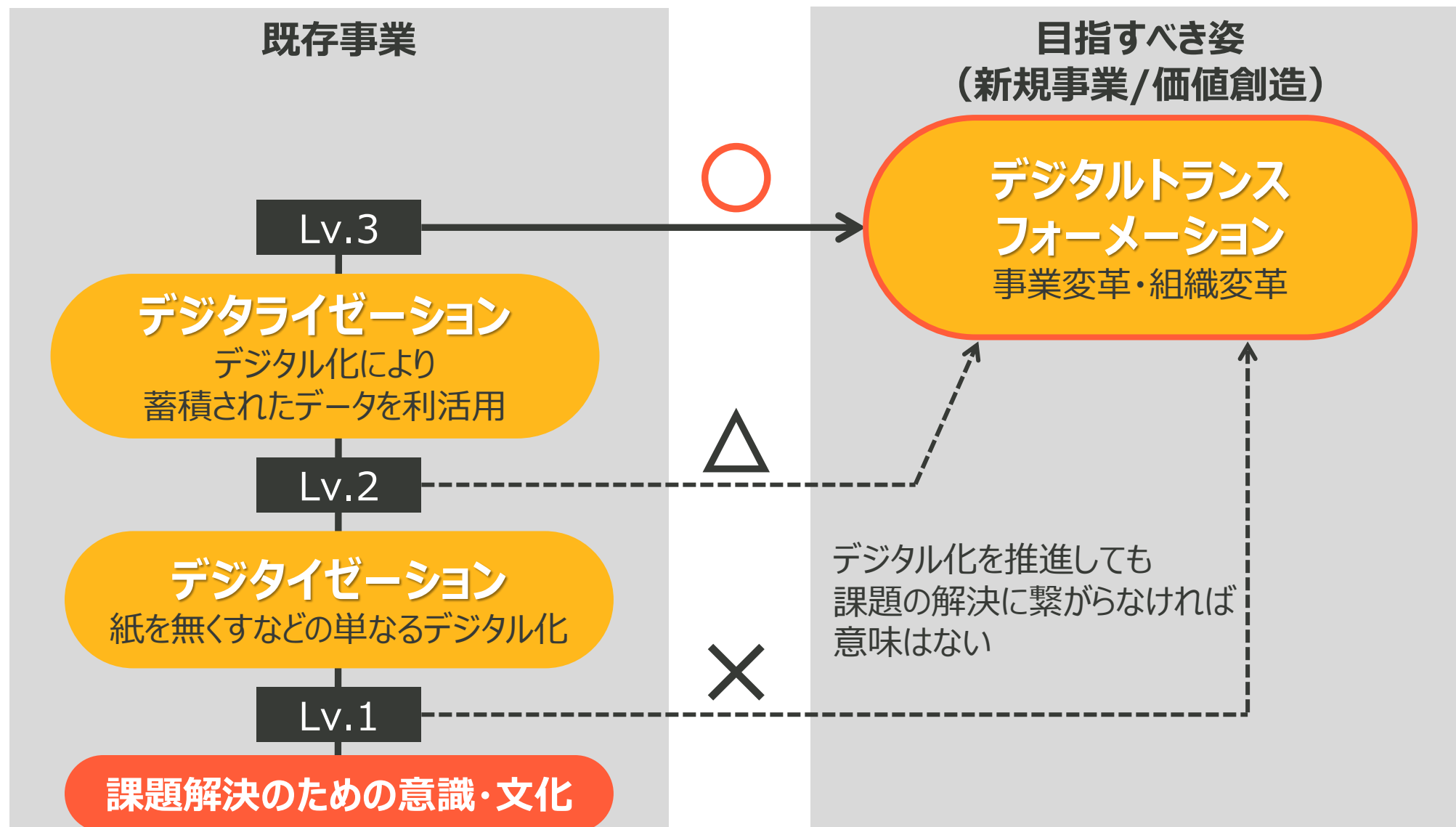
デジタルの「式の・化された」、計数型の
数字の「で表示する」
指（先）の「で動かす・に似た・のような」



Transformation

「形態・外観・性質・状態などの」変化、変形、変質
「昆虫などの」変態
《遺伝》形質転換
《電気》変圧





DX推進の必要性

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、単なるIT導入ではなく、**デジタル技術を活用してビジネスモデルや業務プロセス、組織文化を根本的に変革**することを指します。

1. 事業継続と競争力の維持

市場環境や顧客ニーズが急速に変化する中、従来の業務やサービスでは対応が困難。
デジタル技術を活用することで、柔軟かつ迅速な意思決定や業務改善が可能になる。

2. 人手不足・働き方改革への対応

特に中小企業では人材不足が深刻。DXにより業務の自動化・効率化が進み、
限られた人材でより多くの価値を生み出すことが可能。

3. 顧客体験の向上

オンラインサービスやデータ分析を通じて、顧客ニーズに即したサービス提供が可能。
例：ECサイト、モバイルオーダー、オンライン相談など。

4. 新たな収益機会の創出

デジタル技術を活用した新規事業やサービス展開が可能。 例：AIによる需要予測など。

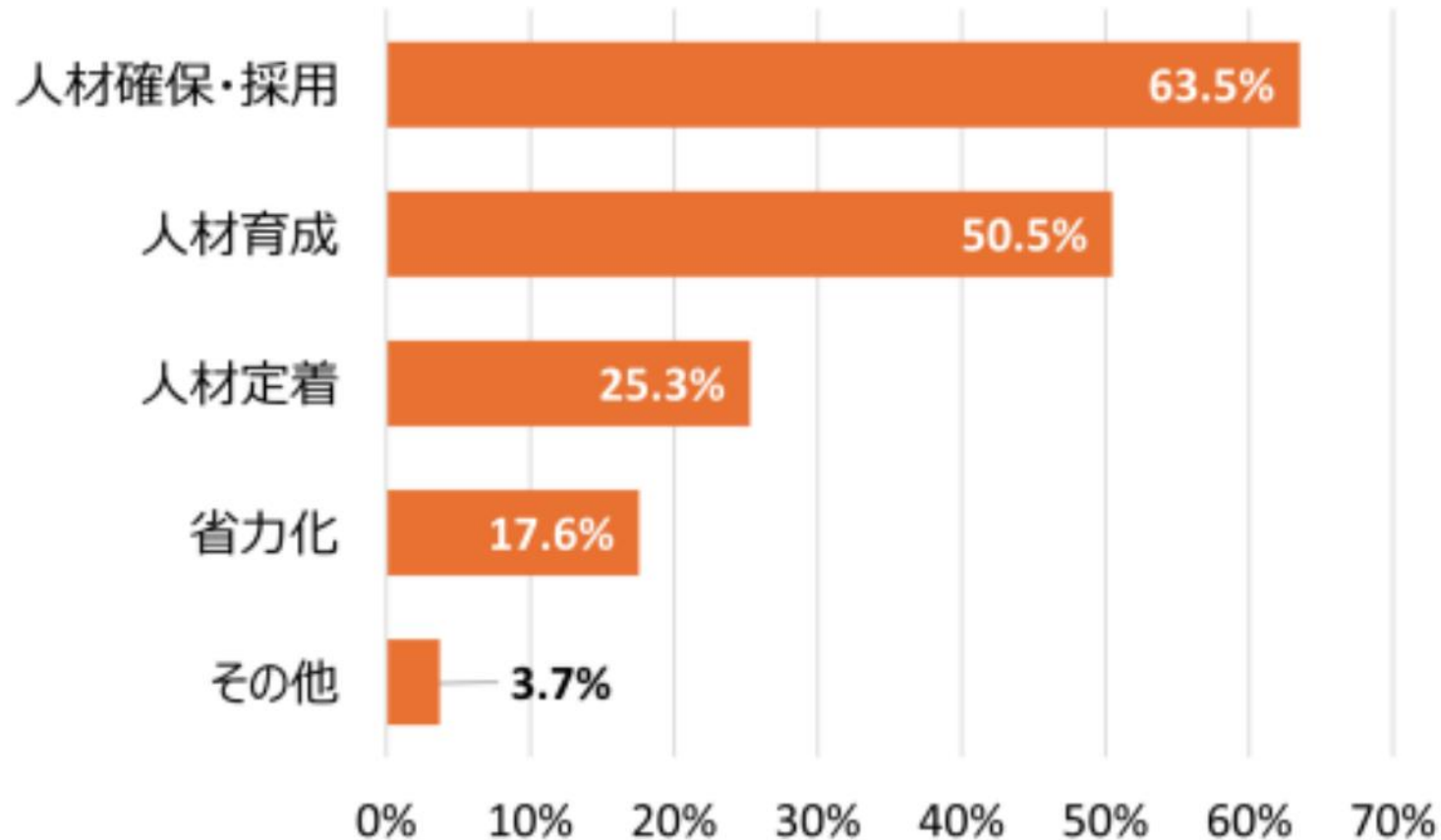


3

人材について

人材確保の現状

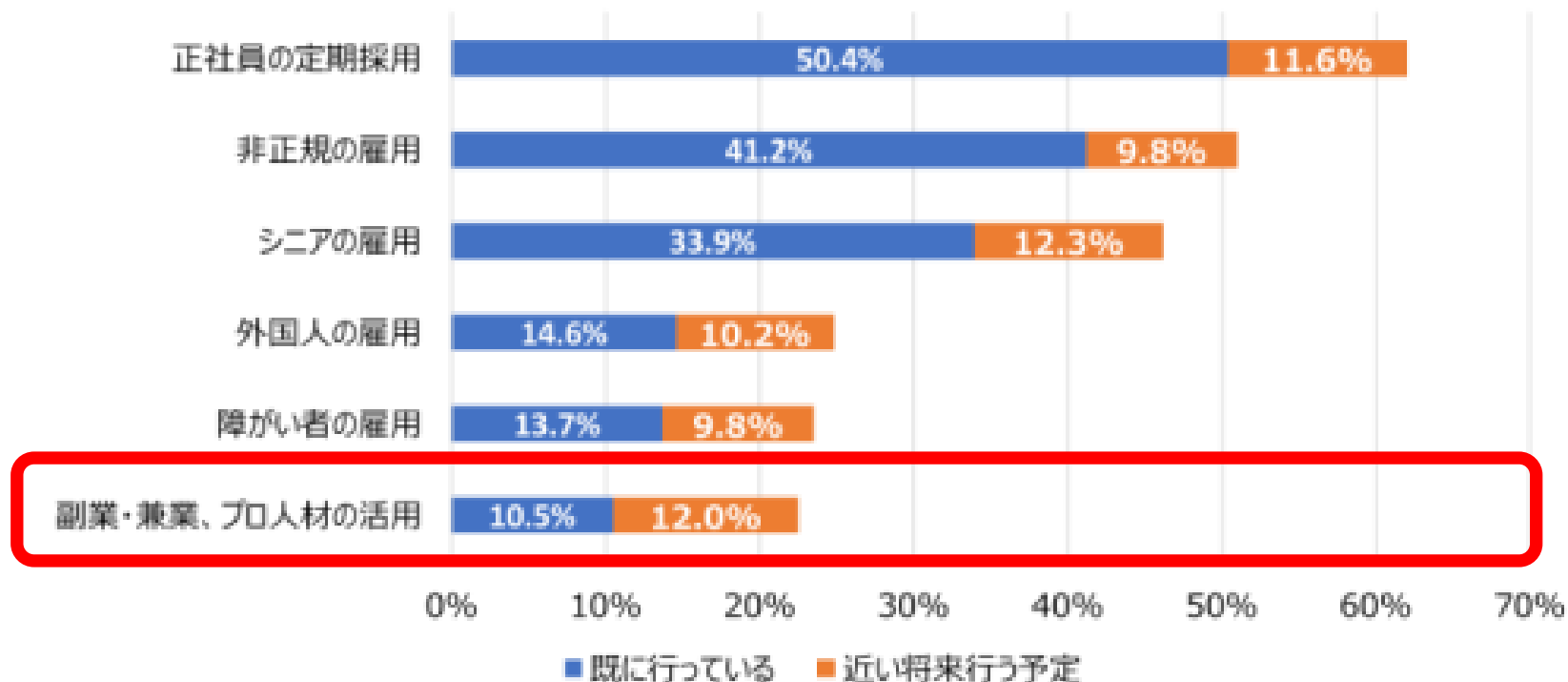
中小企業・小規模企業者の人手不足への取組状況に関する調査（2024年度）



中小企業の6割以上が「人材確保」を課題と認識。

若者の大企業志向や賃金格差により、採用が困難な状況が続いている。

業務のアウトソーシングの可能性



副業・兼業、プロ人材の活用

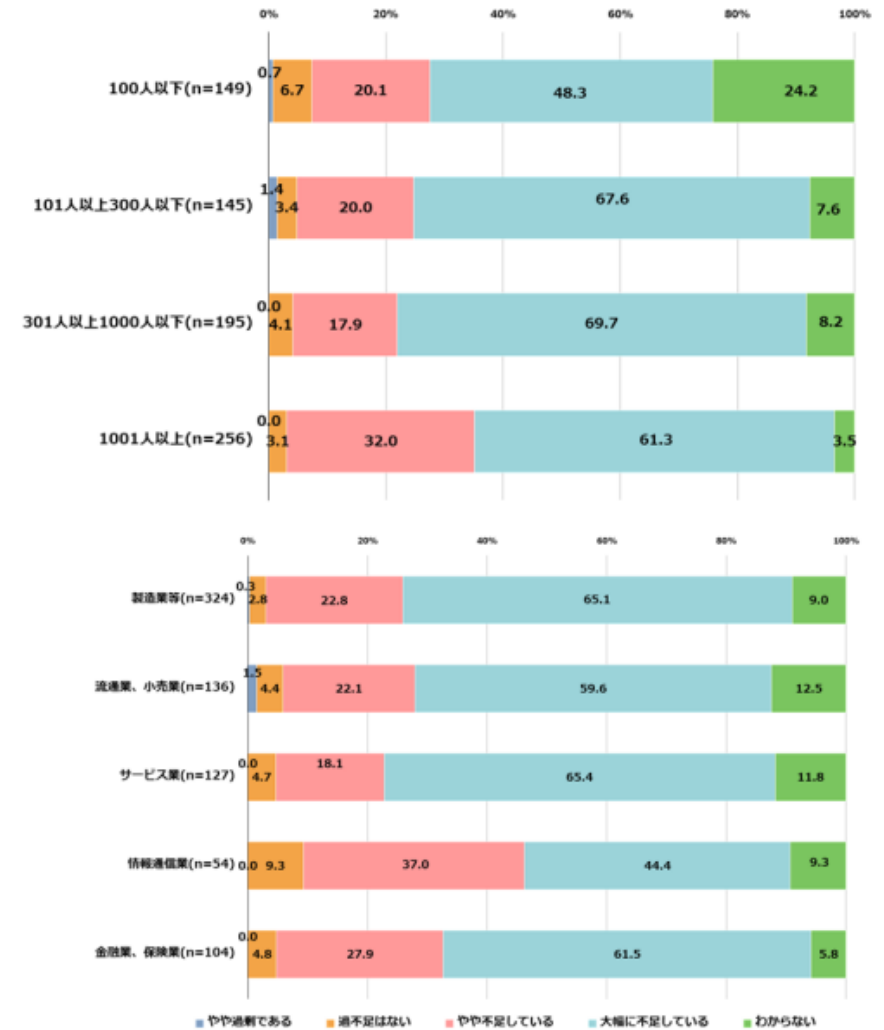
正規・非正規採用には積極的だが、副業・兼業人材の導入には消極的な傾向あり。一方で、制度整備や支援により活用が進む可能性がある。

DX推進における人材の不足について

1. DX人材の定義・評価が企業内で曖昧
2. 社内育成が困難
3. 採用競争で不利な立場にある

企業等におけるDXの取組が広がる中で、DXの取組を担う人材の不足は、DXの取組を進める事業会社で深刻化している。

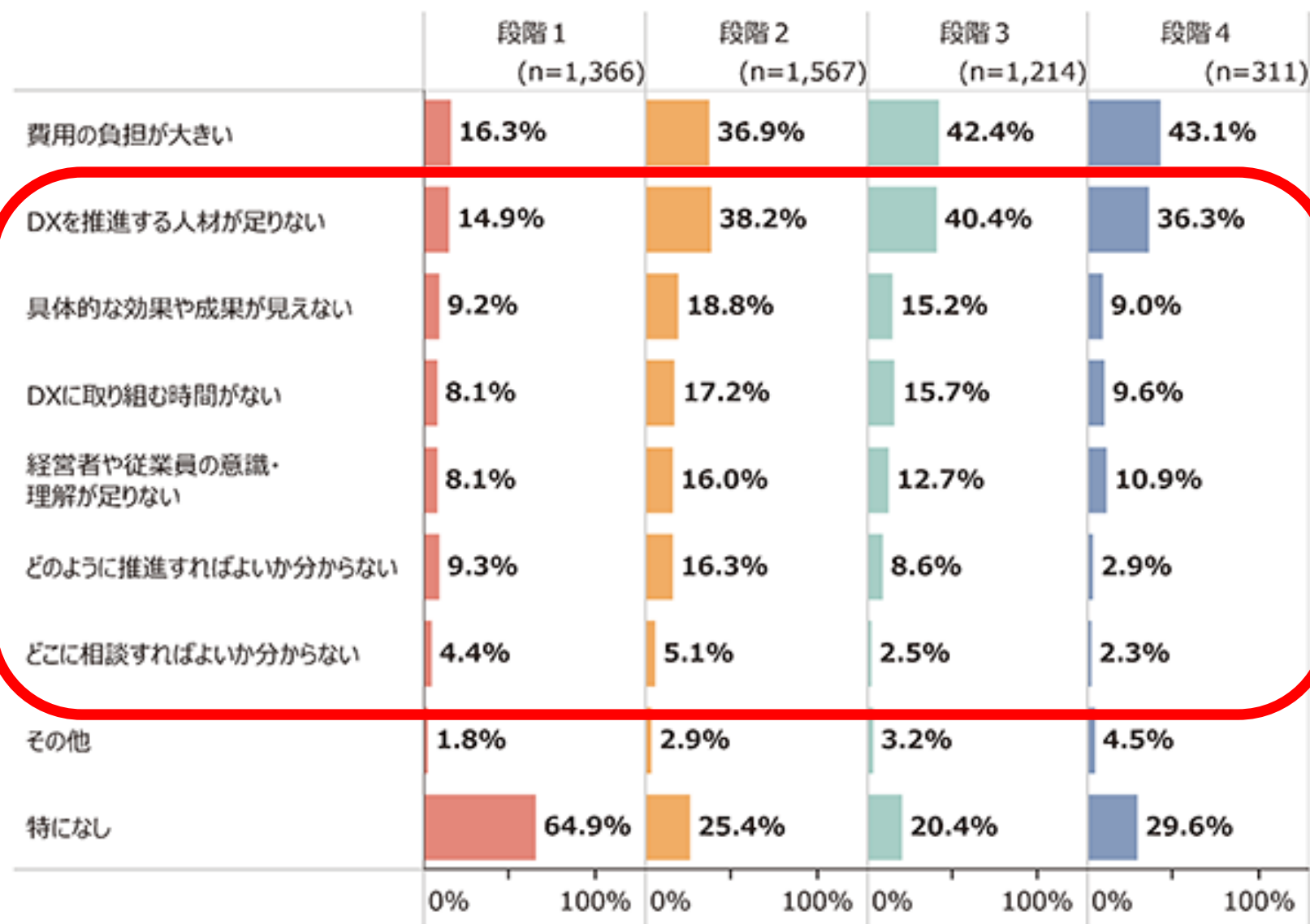
日本企業では、ビジネスアーキテクトやデータサイエンティストの不足感が高いことや、人材不足がDX推進に強く影響している。また、DXで成果を上げる企業では、人材確保に必要な取組を行う割合が高い。また、自社にとって必要となるDXを推進する人材の人材像や評価基準を持たない企業では、人材不足がより顕著であり、自社のDXの取組に必要な人材の定義を行い、評価基準を持つことが重要。



図表 4-11 DXを推進する人材の量の過不足（上段従業員規模、下段業種別）

出所：DX動向2024調査をもとにIPA作成

[DX動向2024-深刻化するDXを推進する人材不足と課題](#)



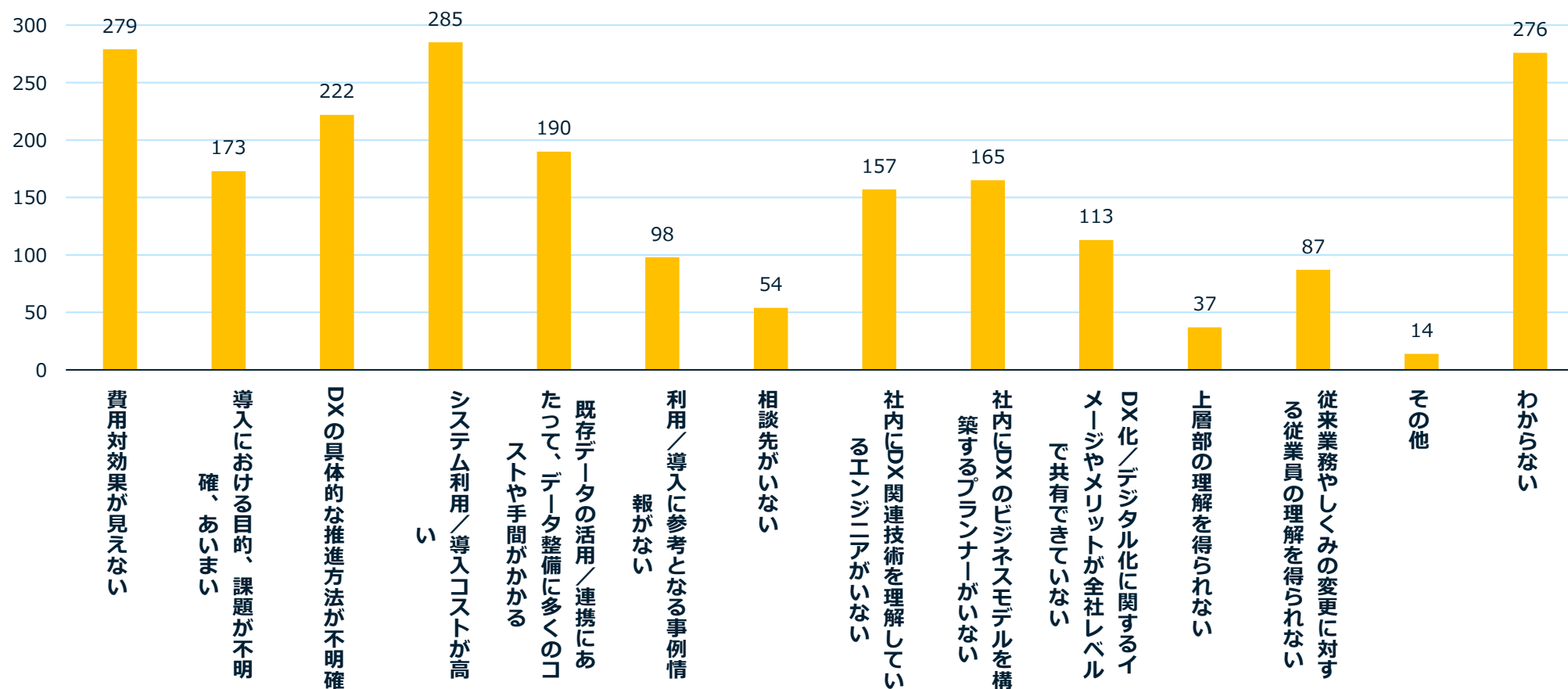
資料：（株）帝国データバンク「中小企業が直面する外部環境の変化に関する調査」

（注）1.複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。

2.DXの取組状況は、2023年時点の状況を集計している。

1-1. デジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めていく上での課題

DX導入における課題/問題



全地域データ（参照：AKKODiSコンサルティング独自調査・あなたが所属する企業で、DXの導入における課題／問題についてお答えください。（いくつでも））

1-1. デジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めていく上での課題

九州・沖縄地域についての考察

九州・沖縄地域における課題

システム利用／導入コストが高い

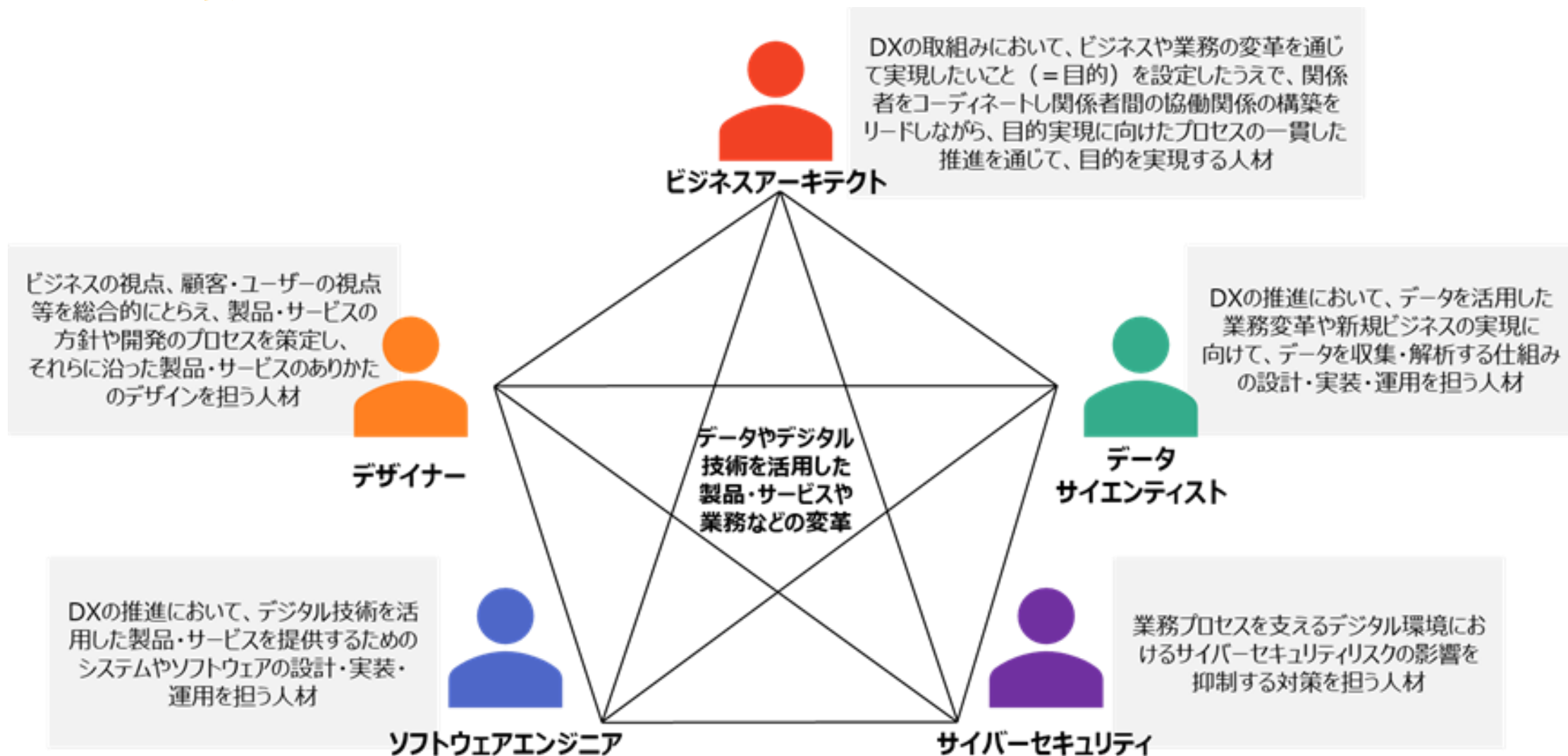
費用対効果が見えない

「わからない」という回答の多さ

システム利用／導入コストの高さについては、九州・沖縄地域の企業が中小企業の割合が高く、資金力に限りがあることが背景にあると考えられる。企業が大規模な投資を行う余裕がないことが推察される。DXの導入に伴う投資がどの程度の効果をもたらすかが不透明であるため、企業が導入に踏み切れない状況が見られる。特に中小企業では、投資に対するリターンが明確でないとリスクを取ることが難しい。これに対して、小規模なパイロットプロジェクトの実施や他社の成功事例の共有、ROI分析の強化など、具体的な効果を示すための取り組みが重要と思われる。

また、「わからない」という回答の多さから、DXに関する理解不足が共通の課題として浮き彫りになっている。これは、DXの全体像や具体的な導入プロセスが十分に理解されていないことが原因と考えられる。情報不足や専門知識の欠如も一因。これに対して、企業内での啓蒙活動やコンサルティングの活用が効果的だと思われる。セミナーやワークショップを通じて、従業員や経営層の理解を促進し、専門家のアドバイスを受けることで、効果的なDX推進が期待できる。

DX推進スキル標準



デジタルスキル標準 (METI/経済産業省)

- 人材類型をさらに詳細に区分し、以下のとおりロールを設定している。

人材類型	ロール	DX推進において担う責任
ビジネス アーキテクト	ビジネスアーキテクト (新規事業開発)	新しい事業、製品・サービスの目的を見出し、新しく定義した目的の実現方法を策定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する
	ビジネスアーキテクト (既存事業の高度化)	既存の事業、製品・サービスの目的を見直し、再定義した目的の実現方法を策定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する
	ビジネスアーキテクト (社内業務の高度化・効率化)	社内業務の課題解決の目的を定義し、その目的の実現方法を策定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する
デザイナー	サービスデザイナー	社会、顧客・ユーザー、製品・サービス提供における社内外関係者の課題や行動から顧客価値を定義し製品・サービスの方針（コンセプト）を策定するとともに、それを継続的に実現するための仕組みのデザインを行う
	UX/UIデザイナー	バリュープロポジション ^{脚注} に基づき製品・サービスの顧客・ユーザー体験を設計し、製品・サービスの情報設計や、機能、情報の配置、外観、動的要素のデザインを行う
	グラフィックデザイナー	ブランドのイメージを具現化し、ブランドとして統一感のあるデジタルグラフィック、マーケティング媒体等のデザインを行う
データ サイエンティスト	データビジネスストラテジスト	事業戦略に沿ったデータの活用戦略を考えるとともに、戦略の具体化や実現を主導し、顧客価値を拡大する業務変革やビジネス創出を実現する
	データサイエンスプロフェッショナル	データの処理や解析を通じて、顧客価値を拡大する業務の変革やビジネスの創出につながる有意義な知見を導出する
	データエンジニア	効果的なデータ分析環境の設計・実装・運用を通じて、顧客価値を拡大する業務変革やビジネス創出を実現する
ソフトウェア エンジニア	フロントエンドエンジニア	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの機能のうち、主にインターフェース（クライアントサイド）の機能の実現に主たる責任を持つ
	バックエンドエンジニア	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの機能のうち、主にサーバサイドの機能の実現に主たる責任を持つ
	クラウドエンジニア/SRE	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの開発・運用環境の最適化と信頼性の向上に責任を持つ
	フィジカルコンピューティングエンジニア	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの実現において、現実世界（物理領域）のデジタル化を担い、デバイスを含めたソフトウェア機能の実現に責任を持つ
サイバー セキュリティ	サイバーセキュリティマネージャー	顧客価値を拡大するビジネスの企画立案に際して、デジタル活用に伴うサイバーセキュリティリスクを検討・評価するとともに、その影響を抑制するための対策の管理・統制の主導を通じて、顧客価値の高いビジネスへの信頼感向上に貢献する
	サイバーセキュリティエンジニア	事業実施に伴うデジタル活用関連のサイバーセキュリティリスクを抑制するための対策の導入・保守・運用を通じて、顧客価値の高いビジネスの安定的な提供に貢献する

脚注 バリュープロポジション：顧客が求める価値を把握した上で、ビジネスのケイパビリティを踏まえて決定される、企業が製品・サービスを購入する顧客に提供する利益や、顧客がその製品・サービスを買うべき理由

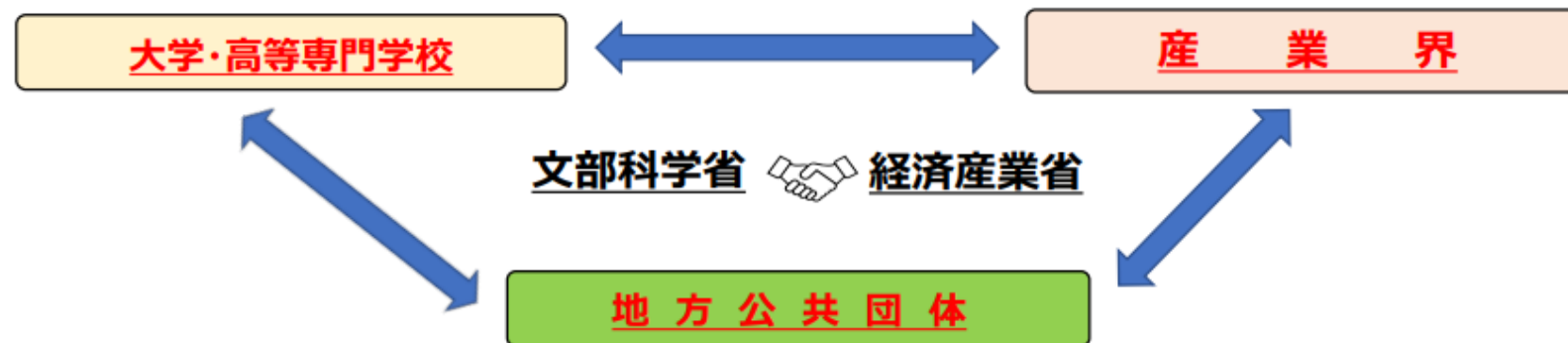
デジタル人材の育成体制

資料 1 - 2

デジタル人材育成推進協議会

目的：成長分野の国際競争力を支えるデジタル人材の産学官連携による育成

- ◆ 産学官連携による大学・高専のデジタル人材育成機能の強化
 - ・ 大学・高専の学部・学科の増設等の促進（初期投資と開設年度からの継続的な運営への支援等）
 - ・ トップ大学による新たな時代をけん引するトップレベルのデジタル人材育成の支援等
- ◆ 地域ごとの人材ニーズの把握・検討・産業育成の促進
 - ・ 各地域におけるデジタル人材のニーズの把握・検討と産業育成に向けた地域コンソーシアムの設立
 - ・ 最先端の教育研究を行うための実務家教員の供給体制の地域ごとの確立等



文科省事業

経産省事業

【数理データサイエンスAI教育強化拠点コンソーシアム（9拠点（9ブロック））】

各ブロックの拠点校を中心に
モデルコアカリキュラムを踏ま
えた教材等の開発等を実施



【地域におけるDX推進の取り組み】（＊経済産業局が適宜サポート）

（例）地域のデジタル産業推進拠点
・半導体コンソーシアム（九州・東北・中国）、蓄電池コンソーシアム（関西）



（例）地域のDX推進拠点
・地方版IoT推進ラボ（106箇所）・地域DX推進コミュニティ（27箇所）等

連携

高等教育機関等におけるデジタル人材の育成確保【文部科学省】

数理・データサイエンス・AI教育の推進

(1) 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 認定制度

大学・高等専門学校の数理解データサイエンス教育に関する正規課程教育のうち、一定の要件を満たした**優れた教育プログラムを政府が認定**し、応援！多くの大学・高専が数理・データサイエンス・AI教育に取り組むことを後押し！



【応用基礎レベル（※）】

2022年度より、応用基礎レベルの認定開始予定

数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的な能力を育成（2025年度に25万人/年度）

（※）データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力、AIを活用し課題解決に繋げる基礎能力を修得。そして、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得。

【リテラシーレベル】

2021年度より、リテラシーレベルの認定開始
78件の教育プログラムを認定

学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、
適切に理解し活用する**基礎的な能力**を育成

(2) 数理・データサイエンス・AI教育強化 拠点コンソーシアム

全国の大学・高専により「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」を形成し、コンソーシアム活動を通じて普及・展開を促進

令和4年度より全国9ブロックで活動

・各ブロックに地域ブロックの代表校を置き、
各ブロックにおける数理・データサイエンス・AI教育を普及展開。
国立大学運営費交付金により支援
（令和4年度予算額（案）12億円）

・**デジタル人材育成プラットフォーム**と連携し
地域におけるデジタル化の取組を促進



高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）

令和7年度要求・要望額

107億円
(新規)



文部科学省

(令和5年度補正予算額

100億円)

現状・課題

大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要

事業内容

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、専門的な外部人材の活用や大学等との連携などを通じてICTを活用した探究的・文理横断的・実践的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する

支援対象等

公立・私立の高等学校等
(1,250校程度)

箇所数・補助上限額 ※定額補助

- ・継続校 : 1,000校 × 750万円 (重点類型の場合950万円)
 - ・新規採択校 : 250校 × 1,000万円 (重点類型の場合1,200万円)
 - ・都道府県による域内横断的な取組 : 47都道府県 × 1,000万円
- ※必須要件に加えて、各類型ごとの取組を重点的に実施する学校を重点類型として補助上限額を加算 (110校 (半導体重点枠を含む))

採択校に求める具体の取組例 (基本類型・重点類型共通)

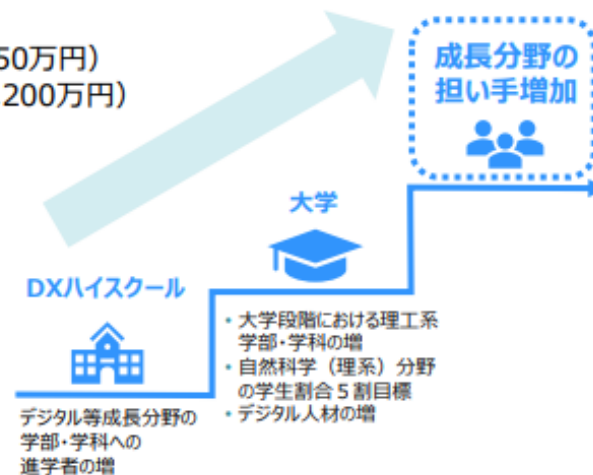
- ・情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進 (遠隔授業の活用を含む)
- ・情報・数学等を重視した学科への転換、コースの設置
- ・デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの実施
- ・デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進
- ・高大接続の強化や多面的な高校入試の実施
- ・地方の小規模校において従来開設されていない理数系科目 (数学Ⅲ等) の遠隔授業による実施
- ・専門高校において、デジタルを活用したスマート農業やインフラDX、医療・介護DX等に対応した高度な専門教科指導の実施、高大接続の強化

採択校に求める具体の取組例 (重点類型 (グローバル型、特色化・魅力化型、プロフェッショナル型 (半導体重点枠を含む)))

- ・海外の連携校等への留学、外国人生徒の受入、外国語等による授業の実施、国内外の大学等と連携した取組の実施等
- ・文理横断的な学びに重点的に取り組む新しい普通科への学科転換、コースの設置等
- ・産業界等と連携した最先端の職業人材育成の取組の実施

支援対象例

ICT機器整備 (ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等)、遠隔授業用を含む通信機器整備、理数教育設備整備、専門高校の高度な実習設備整備、専門人材派遣等業務委託費 等



事業スキーム



(担当: 初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付)

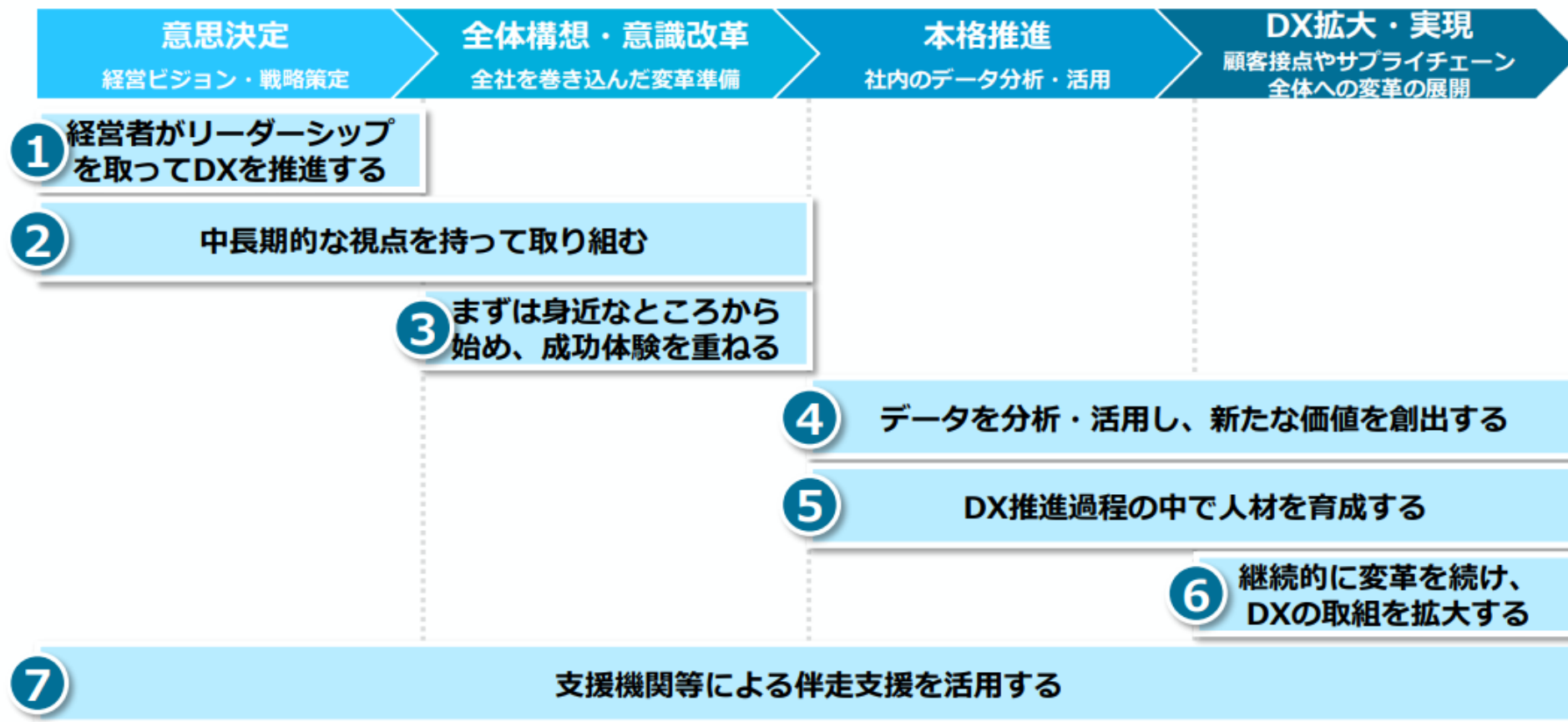
4

DXの成功へ向けて

DXの成功のポイント

■ DX実現プロセスの各段階における成功のポイント（まとめ）

- DXに取り組む企業にみられる成功に向けた7つのポイントについて、前述のDX実現プロセスを踏まえて以下のとおりまとめています。次頁以降ではそれぞれの成功のポイントをご紹介します。



「デジタルトランスフォーメーション 調査（DX調査）2025」について（経済産業省 2025年3月）

DX推進計画・人材戦略



DX推進手順（例）

構想フェーズ

DX 全体の
構想・立案

1. 全体構想

2. 状況整理

3. 計画立案

4. 推進承認

実行フェーズ

DX の実現・
ブラッシュアップ

5.DX 設計

6.DX 実装

7. 社員教育

8. 運用保守

失敗しないDX推進～DXを推進する理由やメリット、具体的な進め方とは？～ | AKKODiS
（アコーディス）コンサルティング
株式会社

5

事業目的・概要

D X戦略に基づく副業・兼業人材等活用促進事業 事業目的

中小企業等では、**デジタル推進人材の不足を誘因**に、人材の確保・育成・活用場の創出の難しさ、またミスマッチによる機会の逸失により、**D Xが進んでいない**。

副業・兼業人材をはじめとした多様なデジタル推進人材とのマッチングにより、業務効率化やコスト削減に留まらない、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させる**中小企業等のD Xを実現する**。具体的には、セミナー・ワークショップを通じて、D X戦略に基づいた人材戦略の策定を行う。マッチングにあたり、**デジタル推進人材が取り組む業務を明確化**するとともに、デジタル推進人材の能力・専門性・知見を可視化させる**アセスメントを行い、中小企業等とのミスマッチを低減させる**。

さらに、適応課題（問題の定義がはっきりせず、問題の発見に学習が必要な課題）を抱える中小企業等に対し、**伴走支援（プロセス・コンサルテーション）**による課題の言語化及び暗黙知の形式知化を通じ、D X戦略に基づいた人材戦略策定に導く。なお、実施にあたって、デジタル推進人材の活用促進・D X支援に取り組む産学官金等によるネットワークを組成し、中小企業等及び地域のデジタル化・**D X並びに副業・兼業人材をはじめとした多様なデジタル推進人材の発掘・育成・活用に向けた課題解決を支援する体制を構築する**。



中小企業等向けデジタル推進人材マッチング

九州エリアにおいてデジタル推進人材不足によるDX推進に課題を抱えている中小企業等に対して、各社のDX戦略・人材戦略を基にデジタルスキルを可視化した副業・兼業人材等のマッチングを進めます。

令和7年度事業

中小企業等

DX戦略・人材戦略



課題の明確化

ミスマッチを低減する取り組み

※ 一部中小企業等に対して、**伴走支援**を実施します。

マッチング人材（本事業で広く募ります）

ミスマッチを低減する取り組み

デジタル推進人材のデジタルスキル（能力・専門性・知見）を可視化させるアセスメントを実施します。



DX戦略・人材戦略の策定

※セミナー等の実施

中小企業等とデジタル推進人材の
マッチング・定着化施策

DX推進

デジタル推進人材のマッチングにご興味のある中小企業等を広く募集しております。
今後、セミナー等の情報も提供させていただきますので、まずはお気軽にお問合せください。

【問合せ先】 事務局：AKKODiSコンサルティング株式会社 People Development本部 地域共創推進部 担当：笠原
Email：pj_kyushiu_dx_jinzai@akkodis.co.jp

九州DX人財マッチングネットワーク



[九州DX人財マッチングネットワーク](#)



Any questions?



Appendix

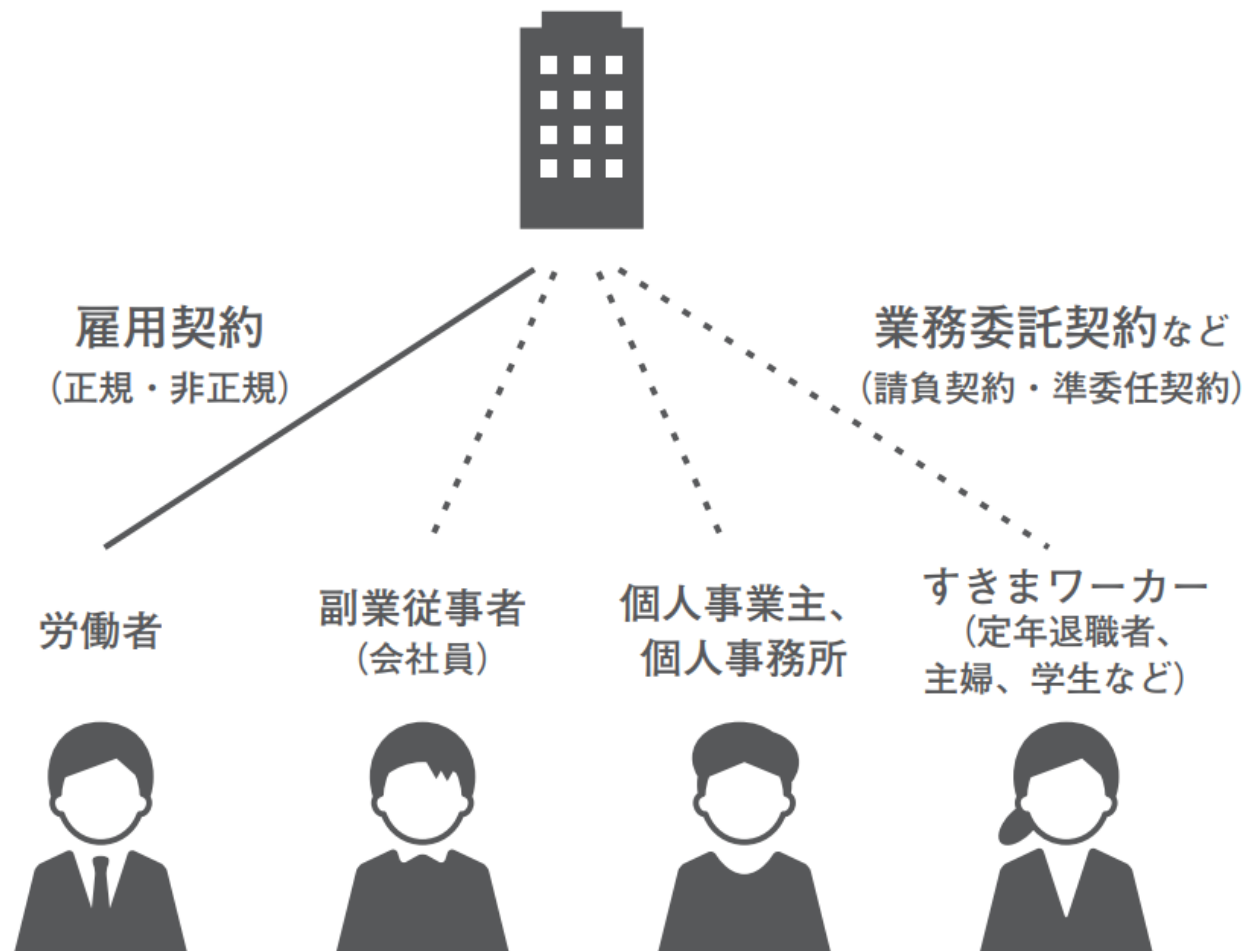
外部人材活用について

外部人材活用ガイドンス 経済産業省関東経済産業局

これまで



これから



Thank you

AKKODiS

笠原 鉄平

E: "kyushu-okinawa.digital.reskilling_research.project@akkodis.co.jp
M: 070-1209-7533

